

## ■ 競技上の注意事項

---

- ◆平成26年度全国高等学校総合体育大会テニス競技は、(公財)日本テニス協会発行「JTA TENNIS RULE BOOK 2014」と、全国高等学校総合体育大会テニス競技の従来から行われているルールに準じて実施する。また、「実施要項」に記載されている事項に加え、下記の事柄については本大会における注意点として特に注意をすること。

### 1. 服装について

- 1) 試合時の服装は、全国高体連テニス専門部が定める「高等学校体育連盟テニス部主催・主管大会における服装規定」(P. 36)に従うこと。
- 2) レフェリーが不適切と判断した場合は、着替えを命じる場合がある。
- 3) ベンチコーチ・ボールパーソンの服装も、選手の服装と同様とする。

### 2. ロゴについて

- 1) ウェアのロゴは、「JTA TENNIS RULE BOOK 2014」の規定に従うこと。ただし、校名・校章については全国高体連テニス専門部が定めた「高等学校体育連盟テニス部主催・主管大会における服装規定」(P. 37)に従うこと。
- 2) ラケットのストリングス上のロゴは認めない。

### 3. 試合進行について

- 1) 試合はすべて競技本部内設置の「公式時計」に基づき、オーダーオブ・プレーにより進行する。
- 2) 選手は自分の試合の開始時間または前の試合終了後、直ちに指定コートに入り試合の準備をすること。
- 3) 天候や進行状況によってスケジュール及び、コートを変更する場合がある。

### 4. 試合前のウォームアップについて

- 1) 試合前のウォームアップは3分間とする。
- 2) 試合中断時間が15分以下は練習なし、15分以上で3分間の練習を認める。
- 3) トスによるエンドの決定後、試合時の服装で行うこと。

### 5. ジャッジ・審判への発言について

- 1) 審判のジャッジコールに従うこと。
- 2) プレーヤーが自分で「アウト」「フォールト」「レット」等のコールや、ハンドシグナル等のジェスチャーをしてはならない。
- 3) 審判のジャッジに対して確認を求めることはできるが、それ以上の発言は許されない。

### 6. 観客の応援について

ここでいう観客とは試合が行われているコートの外から試合を見ている人のことをいう。

- 1) 観客は、サーバーがレディーポジションについた時から、プレーヤーのプレーを妨げるような言動を禁止する。
- 2) 応援するプレーヤーの観客は、対戦プレーヤーに対する一切の言動を禁止する。
- 3) 審判に対する一切の言動を禁止する。
- 4) プレーヤーに対する技術的なアドバイスを一切禁止する。
- 5) 応援に際しては、隣のコートの状況に十分な配慮をすること。
- 6) 校旗・部旗・横断幕等はフェンスに固定してはならない。応援時に手に持つことは認めるが、プレーに支障をきたすとレフェリーが認めた場合には撤去してもらうことがある。
- 7) 上記内容が守られない観客については、レフェリーが会場からの立ち退きを要求することがある。

## 7. コーチングについて

耳に聞こえるものであろうと目に見えるものであろうと、また、どのような形であらうと、プレーヤーに対する情報伝達、助言、指図等はすべてコーチングとみなす。

「JTA TENNIS RULE BOOK 2014」【P23 規則 30 引用】

## 8. メディカルタイムアウト(MTO)について

- 1) 本大会ではメディカルタイムアウト(MTO)を採用しない。
- 2) 選手の健康と安全に対して万全を期するため、「メディカルタイムアウトに関する基本的な考え方」(P. 34)に準じて対応する。

## 9. ヒートルールについて

- 1) 本大会ではヒートルールを採用する。
- 2) 会場での気温が摂氏 35 度以上になった場合、最終セットの前に 10 分間のコート外での休憩（セットブレイクの 120 秒を含む）が認められる。10 分間の休憩では、トイレ、着替えはできるが、コーチングを受けることはできない。「JTA TENNIS RULE BOOK 2014」【P74 規則 23 引用】

## 10. 本大会は、コード オブ コンダクトを適用し、ポイントペナルティ制度に従って行う。

試合のコート上で、コードに違反したプレーヤーはポイントペナルティ制度に従ってチェアアンパイアから以下のペナルティが科される。ダブルスのペアの 1 人が犯した違反はペアに対してペナルティが科される。

- 1 回目の違反：警告
- 2 回目の違反：1 ポイントを失う
- 3 回目以降の違反：その都度 1 ゲームを失う

3 回目以降の違反の後には、違反のたびに失格を与えるかどうかレフェリーが判断をする。ただし、重大な、悪質なコード違反の場合は 1 回目であってもレフェリーが失格を決定することができる。失格者は、そのトーナメントの他の種目に出場できない。（遅刻による失格は除く）

「JTA TENNIS RULE BOOK 2014」【P86 コード 19) ポイントペナルティ制度 引用】

## 11. トイレットブレイクと着替え

- 1) 主審に許可を求めた上で、制限回数内は大会役員引率により行われる。

- 8 ゲームズプロセットマッチ→緊急時に限り、男女シングルス 1 回 男女ダブルスペアで 1 回
- 3 セットマッチ→男子シングルス 1 回 女子シングルス 2 回 男女ダブルスペアで 2 回

- 2) 着替えについてはトイレと別には数えない。

## 12. コート内への入場

以下、入場を許可された者以外、試合中、割当練習中コートへ立ち入ることは出来ない。

大会役員・プレーヤー・監督、引率責任者（団体戦時のみ、ベンチに監督もしくは団体戦のメンバー 1 名  
ボールパーソン（各校 1 名）・報道（所定の位置でのみ認める。）

### 13. その他

- 1) 天候や試合の遅延などによる試合の中断、コート・会場の変更は、レフェリーの指示に従うこと。
- 2) ボールは、8 ゲームズプロセットは9 ゲーム目に、3 セットマッチは1 セットごと 2 球ボールチェンジする。
- 3) ベンチは番号が小さいチーム・選手が審判台からみて左側を使用すること。
- 4) コート内での通信機器の使用を禁止する。ベンチコーチ・ボールパーソンも選手と同様とする。
- 5) タオルは自身のベンチに置くこと。
- 6) 試合を棄権した選手は、同日に行われる別の種目には出場できない。MT0 規約 (P34) の補足 (1) 参照。
- 7) やむをえない事情で大会出場を辞退する場合、別紙(出場辞退書)にて届け出ること。その際、医師の診断書が必要となる。